

(10) 倉敷芸術科学大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月10日	～	2024年8月6日
	後期	2024年9月25日	～	2025年2月4日
授業時間	1限	09:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:55	～	16:25
	5限	16:40	～	18:10

② アクセス(案内図)

倉敷芸術科学大学へ

【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約20分です。

【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約15分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<https://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

学務部教務課	
所在地:	本館(3号)2階
電話:	086-440-1117

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込を以下の期限まで受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

前期:3月29日(金)まで 後期:9月13日(金)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課(3号館2階)へ来てください。

集中講義を受講される場合は、9月25日~27日・9月30日~10月1日の間で教務課(3号館2階)へ来てください。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/>

・対面授業科目

対面授業(教養科目)			10001
倉敷まちづくり実践論			橋元 純也
Practice of Kurashiki Community Development			
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ
<p>【授業の目的】 倉敷市内(倉敷地域・水島地域・児島地域・玉島地域、および真備地区・船穂地区・庄地区・茶屋地区)を対象とする〈地域フィールドワーク〉実践や〈まちづくり提言〉作成を通じて、地域社会の自立した構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍・貢献するために必要となる実践的な意識・知識・能力を育成することを目的とする。 第1～3回で、本科目の地域連携科目としての位置づけや、倉敷のまちづくりについて確認したうえで、地域フィールドワークの方法をまなび、その計画を作成する。第4～6回で、みずからの計画に沿って、倉敷市内の地域・施設・行事などを対象として地域フィールドワークを実践する。第7～9回で、実践した地域フィールドワークの成果について、報告・共有をおこなう。第10～12回で、必要に応じて地域フィールドワーク実践・データ収集・文献研究を追加し、まちづくり提言を作成する。第13～15回で、作成したまちづくり提言の発表・共有をおこなったうえで、最終提出への準備をおこなう。</p> <p>【到達目標】 1.倉敷のまちづくりを理解したうえで〈地域フィールドワーク〉を主体的に計画できる。 2.計画に沿った〈地域フィールドワーク〉を積極的に実践できる。 3.実践した〈地域フィールドワーク〉の成果をふまえ、独自の〈まちづくり提言〉を作成できる。 4.明快なプレゼンテーション資料を作成して効果的に発表するとともに、他者の発表を適切に評価できる。</p> <p>【授業外学習】 〈地域フィールドワーク〉〈まちづくり提言〉について、計画・内容・発表資料の見直しを随時おこない、必要に応じて担当教員に相談し指導を受けること。</p> <p>【注意事項】 10/5土・12/7土・1/25土にすべて参加し、その間におこなうフィールドワークについて説明をうけることが、単位修得の前提となるので、下記日程をよく確認したうえで履修登録すること。</p>			
<p>【授業内容】 01.【10/5土3限目】科目概要ガイダンス / フィールドワークの説明 02.【10/5土4限目】〈地域フィールドワーク〉計画 下書き作成・相談 03.【10/5土5限目】〈地域フィールドワーク〉計画 再検討・修正・提出 04. 〈地域フィールドワーク〉の実践 05. データ収集・文献研究の実践 06. 〈地域フィールドワーク〉報告のプレゼン資料作成 07.【12/7土3限目】〈地域フィールドワーク〉報告・前半 08.【12/7土4限目】〈地域フィールドワーク〉報告・後半 09.【12/7土5限目】〈まちづくり提言〉作成相談と計画提出 10. 〈地域フィールドワーク〉実践 11. データ収集・文献研究の実践 12. 〈まちづくり提言〉のプレゼン資料作成 13.【1/25土3限目】〈まちづくり提言〉発表・前半 14.【1/25土4限目】〈まちづくり提言〉発表・後半 15.【1/25土5限目】〈まちづくり提言〉最終提出にむけて相談</p>			
<p>【テキスト】 指定教科書なし。毎回、資料を配布する。</p>			
<p>【参考図書】 なし。</p>			
<p>【成績評価の方法】</p>			

取りくみと提出物の状況・内容を以下のように評価し、総合計 60 点以上を合格とする。

- 〈地域フィールドワーク〉計画の状況・内容(20%):到達目標 1 を評価
- 〈地域フィールドワーク〉報告の状況・内容(40%):到達目標 2・4 を評価
- 〈まちづくり提言〉の状況・内容(40%):到達目標 3・4 を評価

対面授業(芸術学部)			10002	
メディア・アート論			大森 隆	
Media Art				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 新しいメディア環境に対応した芸術表現として様々なメディア・アート作品を紹介し、テクノロジーとアートの関係を理解し、メディア・アートの本質を考察する。 メディア・アートとは、工学などの先端技術を取り入れたアートで、近年はコンピュータをはじめとするデジタルメディアの発展に伴い、インタラクティブアートが注目されている。</p> <p>【アクティブラーニング】 各分野のメディア・アートについて調べ、プレゼンテーションによる発表を行う。</p> <p>【フィードバック】 課題に対する講評等のフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p>【到達目標】 1 多様なメディア・アートを理解し説明できる。 2 テクノロジーとアートの関係を理解し説明できる。</p> <p>【授業外学習】学習時間の目安：合計 60 時間 ・各分野のメディア・アートについて調べ理解を深める。 ・授業内で発表を行うために調査と準備を行う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メディア・アートとは？ 2. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 最新) 3. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 1-3 年前) 4. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 昨年) 5. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 2-4 年前) 6. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 5-7 年前) 7. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 8-10 年前) 8. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 11 年以前) 9. メディア・アート分野紹介(インタフェース・デバイス アート) 10. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 最新) 11. 受講者 発表(1) 12. 受講者 発表(2) 13. 受講者 発表(3) 14. 受講者 発表(4) 15. 受講者 発表(5) 				
<p>【テキスト】 なし。</p>				
<p>【参考図書】 なし。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む態度・姿勢(40%)、発表内容(60%)に基づいて総合的に評価する。 到達目標1は授業に取り組む態度・姿勢から、到達目標2は発表内容により評価する。 総合計 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(芸術学部)			10003
絵画基礎Ⅲ			田丸 稔
Basic Painting Ⅲ			
履修年次2～4	2単位	前期	2コマ
<p>【授業の目的】 絵画表現の基礎的な理解を踏まえた上で、写真や映像、コンピューター、インターネットを活用した作品のプレゼンテーション等について実技を交えた考察を行う。 その上で、デジタルメディアを活用した絵画表現や展示等を行う。 【アクティブラーニング】自らの作品に関してプレゼンテーションを行う。 【フィードバック】作品に対する講評についてフィードバックを含めた指導を行う。 【到達目標】 1.リアルな展示空間とバーチャルな展示空間の両者における作品展示の差異を理解できる。 2.SNSを自作作品発表のプラットフォームとして効果的に活用することができる。 3.ネット上のコンテンツとしての絵画作品の意味を理解することができる。 4.自身の表現世界を深め、あるいは広げることができる。</p> <p>【授業外学習】学習時間の目安：合計 30 時間 ・写真、映像、インターネットなどの素材を活用して作家や作品について調べる。 ・インターネット上で最新の作家についての情報を得ることができる。 ・授業外でも各自の制作を行う。 ・模写制作終了後、研究内容に関するレポートを提出する。</p>			
【授業内容】			
1 回目：オリエンテーション(授業の目的と概要について) 2 回目：リアルとバーチャルいずれも想定した作品の構想1 3 回目：リアルとバーチャルいずれも想定した作品の構想2 4 回目：課題 1 絵画作品の制作 1 5 回目：課題 1 絵画作品の制作 2 6 回目：課題 1 絵画作品の制作 3 7 回目：課題2絵画作品の制作1 8 回目：課題2絵画作品の制作2 9 回目：課題2絵画作品の制作3 10 回目：課題3絵画作品の制作1 11 回目：課題3絵画作品の制作2 12 回目：課題3絵画作品の制作3 13 回目：課題4 SNS 上へのUPとサイト作成 14 回目：課題4 過去の作品も含めたサイト充実化 15 回目：課題4 各自サイトと作品のプレゼンテーションとまとめ			
【テキスト】			
適宜指示する。			
【参考図書】			
成羽美術館作品図録他、適宜提示する。			
【成績評価の方法】			
SNSを活用したポートフォリオ作成65%(到達目標1、2、3、4の評価)、およびレポート提出 35%(到達目標1、2、3、4の評価)。			

対面授業(生命科学部)			10004	
水族飼育技術論			山野 ひとみ	
Breeding Technology of Aquatic Animals				
履修年次2~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 水族の飼育は、生物の収集から輸送、収容、維持・管理までの一連の過程から成り、その過程で発生する社会的、生物学のおよび技術的な問題を解決することで成立する。授業では、水族飼育の基本的な流れを解説するとともに、飼育の過程で発生する様々な問題を取りあげ、その解決方法を紹介する。</p> <p>【到達目標】 1 水族飼育の基礎から専門知識を身につけることができる。 2 各分類群の特徴を踏まえ、飼育過程における問題点およびその解決法を理解し説明できるようになる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計 60 時間 予習:LMS に提示する資料を読む(各回 2 時間)。 復習:課題レポートを毎回出題するため、授業内容を整理しておく(各回 2 時間)。</p> <p>【授業内容】 1. 水族を飼育するために 2. 水族の収集と輸送 3. 飼育設備 4. 飼育水の浄化 5. 水族の飼育環境と病気 6. 水族の病気 7. 水族の餌料と栄養 8. 魚類の餌料と栄養 9. 無脊椎動物の餌料 10. 水族の繁殖 11. 水族の保存 12. 水族の保護 13. 水産養殖 14. 水産育種 15. 試験</p> <p>【テキスト】 講義資料としてプリントを配布する。</p> <p>【参考図書】 渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店) 日本動物園水族館協会編「新・飼育ハンドブック」1~4巻、間野伸宏・鈴木伸洋 共編著「水族育成学入門」(成山堂)、児玉 洋監修「魚病学」(緑書房)</p> <p>【成績評価の方法】 以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 レポート 40%:到達目標 1 を評価 試験 60%:到達目標 1、2 を評価</p>				

対面授業(生命科学部)			10005	
生活習慣病予防			椎葉 大輔 他	
Prevention of Lifestyle-related Diseases				
履修年次2~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 運動不足、栄養過剰、不規則な生活、ストレス増大などにより生活習慣病のリスクが増している。また、近年では生活習慣に起因する代謝異常が児童期から見られることから、生活習慣病予防に関する知見は幼児や児童を対象とする者にとっても重要な知識である。本授業では、生活習慣病の原因・治療法および運動処方や栄養摂取について学び、健康科学分野における専門的知識・技能を身につけ、適切な運動処方や食生活指導を実施できる人材の育成を目標としている。</p> <p>【到達目標】 1 各疾患の基本メカニズムについて理解し説明できる。 2 各疾患を予防する上で生活習慣病として共通する部分と疾病別に分けて考えるべき部分を、運動と食事の知識に基づき系統立てて理解し説明できる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計60時間 授業の理解度についてLMSで理解度確認チェック(小テスト)を行うので、授業で学んだ内容について復習すること(各4時間)。また予習については、各回講義終了時に指示する。</p> <p>【連絡事項】15回目に期末試験を実施する。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 メタボリックシンドロームについて(大川・椎葉) 第2回 肥満症(1)(椎葉・大川) 第3回 肥満症(2)(矢田貝・大川) 第4回 脂質異常症(高尿酸血症)(1)(椎葉・大川) 第5回 脂質異常症(高尿酸血症)(2)(矢田貝・大川) 第6回 糖尿病(1)(椎葉・大川) 第7回 糖尿病(2)(矢田貝・大川) 第8回 高血圧症(1)(椎葉・大川) 第9回 高血圧症(2)(矢田貝・大川) 第10回 虚血性心疾患とリハビリテーション(椎葉・大川) 第11回 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、運動誘発性喘息)(矢田貝・大川) 第12回 ロコモティブシンドローム(椎葉・大川) 第13回 がん(悪性新生物)(矢田貝・大川) 第14回 運動器退行性疾患(椎葉・大川) 第15回 軽度認知障害、認知症(大川)</p>				
<p>【テキスト】 使用しない(スライドおよび配布資料をもとに授業を行う)</p>				
<p>【参考図書】 「はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ6 健康づくりのための運動の科学」・鶴木 秀夫 編集・化学同人・ISBN:978-4759817102</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢 10%(到達目標1、2)、小テスト 20%(到達目標1、2)、期末試験 70%(到達目標1、2)で評価する。総合点60点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10006	
動物行動学			唐川 千秋	
Animal behavior and psychology				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると考えるのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にはなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。 (2)動物の学習原理を理解する。 (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p>【授業外学習】</p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。 復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。 各章末の問題を解く。 指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p>【授業内容】</p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは 予習:P.3-8 復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応 予習:P.8-14 復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動 予習:P.17-26 復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動、母性行動 予習:P.29-39 復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動 予習:P.40-45 復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動 予習:P.46-54 復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ 予習:P.57-70 復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達 予習:P.73-78 復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達 予習:P.79-82 復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>【課題1】2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p>				

第 10 回 動物の学習原理(1)条件づけ

予習:P83-87

復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。

第 11 回 動物の学習原理(2)学習理論の展開

予習:P.88-93

復習:条件づけ理論の展開について理解する。

【課題 2】10-11 回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。

第 12 回 問題行動(1)問題行動と行動診療

予習:P.101-108

復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。

第 13 回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.109-130

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

第 14 回 問題行動(3)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.131-154

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

【課題 3】12-14 回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。

第 15 回 問題行動の予防

予習:P.154-176

復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。

【テキスト】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

ISBN:978-4-86671-160-7

【参考図書】

日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社 ISBN: 9784774172583

藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2

高木佐保 2021 知りたい! ネコごころ 岩波書店 ISBN:978-4-00-029692-2

【成績評価の方法】

課題 3 編 30%(課題 1 は到達目標 1、課題 2 は到達目標 2、課題 3 は到達目標 3 に対応する)、定期試験 70%(到達目標 1・2・3)の重みで評価する。総合計 60 点以上を合格とする。期末試験を受験していない場合は評価対象としない。

対面授業(生命科学部)				10007
医学概論				藤本 一満 他
The introduction to medical science				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 医学・医療・臨床検査・臨床検査技師の入門科目として、歴史から最新情報を講義する。本講義で医学の大切さ、医療の仕組み、臨床検査の重要性、臨床検査技師の業務内容の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1.医療における臨床検査技師の役割、業務内容、職場を説明できる。 2.人体の構造および癌について説明できる。 3.DNA、RNA、遺伝子について説明できる。 4.免疫および感染症について説明できる。 5.血球・免疫・凝固について説明できる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:復習を中心に合計 60 時間程度 ・講義内容は最新情報や時事問題についても取り上げるため、講義内容をよく聞き、復習を心掛ける。 ・講義内容の関連事項について自ら調べて、知識や理解を広げておく。 ・医療に関する新聞記事、ニュースに関心をもち、現代の医療状況、方向性、問題点を知る。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査技師とは(藤本) 2. 医学検査・臨床検査のあゆみ(藤本) 3. 病院と病気(藤本) 4. 人体臓器の位置と大きさについて(野島) 5. 人体臓器の働きと機能について(野島) 6. 癌とは(野島) 7. DNAとは、RNAとは(高木) 8. 人類の進化と遺伝子(高木) 9. ゲノム編集と治療(高木) 10. 免疫学概論(山崎) 11. 感染症学総論①(山崎) 12. 感染症学総論②(山崎) 13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部) 14. 血栓止血の不思議について(渡部) 15. 期末試験、授業総括(渡部) 16. 予備日(藤本) 				
【テキスト】 配布プリント				
<p>【参考図書】 特になし</p>				
<p>【成績評価の方法】 到達目標 1~5 に関して、期末試験(100%)で評価する。総合点 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10008
基礎生理検査学			泉 礼司
Basic Physiological Examination			
履修年次1~4	2単位	後期	1コマ
<p>【授業の目的】 臨床生理学を学ぶために、人体の構造と機能の基本的知識を系統的に身につけ、生理学的検査の基礎を習得することを目的とする。ヒトの身体の臓器・器官・細胞が互いに関連しあって成り立っていることを理解し、人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を習得する。</p> <p>【到達目標】 1. 人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を理解し、説明することができる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計60時間 教科書と配布資料にて復習を行う。</p> <p>【注意事項】 ・医療現場における生理検査の習得に繋がる基礎内容知識となる。 ・講義中の録音、録画、撮影は、他の受講者の妨げにならない場合を許可するが、他者への再配布(ネット上へのアップロードを含む)は禁止する。 ・授業での資料配布や質問等、LMSを活用する。</p>			
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生理学的検査の目的 2. 生理学的検査における臨床検査技師の役割 3. 生理学的検査を行う上での注意事項 4. 生理学的検査を行う上での患者の心理と対応 5. 生理学的検査の医療現場(外来・病棟・手術室など)における多様なニーズ 6. 医用機器の構造と取り扱い 7. 生理学的検査における安全対策 8. 生理学的検査における感染対策 9. 患者急変時の対応(負荷試験時など) 10. 患者急変時の対応(心肺蘇生法など) 11. 手術室などでの生体情報モニタリングについて 12. 循環呼吸生理学検査の基礎 13. 神経生理学検査の基礎 14. 超音波検査の基礎 15. 期末試験、まとめ 16. 試験解説 			
<p>【テキスト】 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>			
<p>【参考図書】 生理学(コメディカル専門基礎科目シリーズ)理工出版 ボロン プールペーパー 生理学 西村書店 標準生理学 医学書院 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>			
<p>【成績評価の方法】 到達目標1について期末試験で評価する。総合60点以上を合格とする。</p>			

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

倉敷芸術科学大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - - Tel () -				

* 履修受付締切日：前期：3月29日(金)まで 後期：9月13日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
10001	倉敷まちづくり実践論	教養	橋元 純也	2	後期	1~4	定員 10 名	集中土 13:10~18:10		
10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	前期	1~4	定員 10 名	木 13:10~14:40		
10003	絵画基礎Ⅲ	専門	田丸 稔	2	前期	2~4	定員 10 名	木 14:55~18:10		
10004	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2~4	定員 10 名	火 10:50~12:20		
10005	生活習慣病予防	専門	椎葉 大輔 他	2	前期	3~4	定員 5 名	水 14:55~16:25		
10006	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10 名	木 09:10~10:40		
10007	医学概論	専門	藤本 一満 他	2	前期	1~4	定員 10 名	火 10:50~12:20		
10008	基礎生理検査学	専門	泉 礼司	2	後期	1~4	定員 10 名	木 09:10~10:40		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚